

# I 平成19年度事業報告書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

指定管理者として2年目である平成19年度は、芸術文化の発信地としての埼玉の地位を確立すべく、彩の国さいたま芸術劇場、埼玉会館及び熊谷会館において、その施設の特性を活かした舞台芸術作品、優良公演の提供事業や普及啓発事業などを実施した。

舞台芸術作品、優良公演の提供事業においては、国際共同制作によるインバル・ピント・カンパニー「ヒュドラ」の世界初演、ピアニストの期待の星を取り上げた新シリーズ「ピアノ・エトワール・シリーズ」、看板公演である「彩の国シェイクスピア・シリーズ」や壮大なスケールの音楽劇「エレンディラ」など、舞踊、音楽、演劇の各部門において当財団の特徴を遺憾なく発揮したラインナップにより、高い評価を得ることができた。

普及啓発事業においては、55歳以上の演劇集団「さいたまゴールド・シアター」の第1回公演「船上のピクニック」を上演し、芸術文化の新たな可能性を提示したほか、各分野において財団独自の事業を実施し、芸術文化の裾野の拡大に努めた。

また、公開トーク・セッションやランチタイム・コンサートの実施など、各施設を拠点として、芸術文化に関する話題を発信することや地域のにぎわいを創出する核としての役割を担うことができた。

各施設の管理運営業務においては、ホームページ上で行っている施設の空き情報の提供をさらに充実するなど利用者の立場に立ったサービスの向上を図り、施設の利用促進に努めた。

## 1 事業の概要

### (1) 一般会計

理事会を3回(5月、12月、3月)、評議員会を1回(3月)開催するとともに、組織の適正な管理運営に努めた。

### (2) 文化振興事業特別会計

#### ア 文化振興事業(113事業)

##### (ア) 舞台芸術作品、優良公演の提供事業(51事業)

##### a 彩の国さいたま芸術劇場

##### (a) 舞踊部門

コンテンポラリー・ダンス界で活躍がめざましい国内外のカンパニーを招へいし、優れた芸術性で世界的に評価の高い作品を上演した。

特にイスラエルのインバル・ピント・カンパニーとは、日本人ダンサーも出演する新作の国際共同制作、世界初演を行い、高い評価を得た。

事業名	実施時期	会場
ヤン・ロワース&ニードカンパニー「イザベラの部屋」	4月	芸術劇場大ホール
コンドルズ 埼玉スペシャル公演2007	5月	芸術劇場大ホール
サシャ・ヴァルツ&グスツ「ケルパー」	7月	芸術劇場大ホール
インバル・ピント・カンパニー「ヒュドラ」世界初演	11月	芸術劇場大ホール
ヤン・ファーブル「死の天使」	2月	芸術劇場大ホール

(b) 音楽部門

優れた音響効果を持つ音楽ホールにおいて、ピアノ、ブラス、声楽、室内楽など多彩なジャンルのコンサートを実施し、多くの方から好評を得た。

特に「ピアニスト100」に次ぐピアノシリーズである「ピアノ・エトワール・シリーズ」では、30歳以下の若手ピアニスト4人が登場し好評を博した。一方、「ウィーン少年合唱団」、「坂本龍一プロデュース公演 ロハスクラシック・コンサート2007」等、知名度の高いアーティストによる公演を実施し、普段劇場に足を運ばない方々にも広く来場いただいた。

事業名	実施時期	会場
ウィーン少年合唱団	5月	芸術劇場音楽ホール
坂本龍一プロデュース公演 ロハスクラシック・コンサート2007	5月	芸術劇場大ホール
ピアノ・エトワール・シリーズ (Vol.1~Vol.4)	6月~12月	芸術劇場音楽ホール
ニューヨーク・フィル・ブラス・クインテット	7月	芸術劇場音楽ホール
宮本益光 バリトン・リサイタル	9月	芸術劇場音楽ホール
イエフィム・ブロンフマン ピアノ・リサイタル	11月	芸術劇場音楽ホール
小山実稚恵 ピアノ・トリオ 夢の響演Ⅱ	11月	芸術劇場音楽ホール
清水直子 ヴィオラ・リサイタル	2月	芸術劇場音楽ホール
児玉 桃 ピアノ・リサイタル	3月	芸術劇場音楽ホール
バッハ・コレギウム・ジャパン バッハ《マタイ受難曲》	3月	芸術劇場音楽ホール

(c) 演劇部門

「彩の国シェイクスピア・シリーズ」では、第18弾「オセロー」及び第19弾「リア王」と、シェイクスピアの4大悲劇の2作品を上演し、連日満員で好評を博したほか、音楽劇「エレンディラ」、「身毒丸 復活」はいずれも大きな話題を呼んだ。

また、稽古場見学会やバックステージツアーの開催や、公演前にプレ・コンサート「さいたまアーツ・シアター ライヴ!!」を実施するなど、様々な形で来場者に楽しんでもらえる環境づくりに努めた。

その他、平成20年度実施予定の音楽劇「ガラスの仮面」の主役2名のオーディションを行った。

事業名	実施時期	会場
蛭川祝祭劇「エレンディラ」	8月～9月	芸術劇場大ホール
蛭川音楽劇「ガラスの仮面」準備	8月～3月	芸術劇場大けいこ場他
彩の国シェイクスピア・シリーズ第18弾「オセロー」	10月	芸術劇場大ホール
維新派「nostalgia」	11月	芸術劇場大ホール
彩の国シェイクスピア・シリーズ第19弾「リア王」	1月～2月	芸術劇場大ホール
蛭川演劇再演「身毒丸 復活」	3月	芸術劇場大ホール
彩の国さいたま寄席	4月～12月	芸術劇場小ホール
源氏語り五十四帖（第37～42回）	4月～3月	芸術劇場小ホール
彩の国シネマスタジオ	4月～3月	芸術劇場映像ホール

b 埼玉会館

ホールの特性を活かしたオーケストラ公演として、北欧の代表的作曲家、グリーグの没後100年及びシベリウスの没後50年を記念した当会館オリジナルのプログラムで、指揮に藤岡幸夫、ピアノに仲道郁代を迎え、日本最高峰のオーケストラであるNHK交響楽団による演奏会を開催した。

事業名	実施時期	会場
藤岡幸夫指揮 仲道郁代ピアノ NHK交響楽団〜グリーグ没後100年・シベリウス没後50年記念〜	10月	埼玉会館大ホール
埼玉会館ニューイヤー・コンサート ウィーン・リング・アンサンブル	1月	埼玉会館大ホール
彩の国さいたま中国映画祭	11月	埼玉会館大ホール
彩の国シネマスタジオ	12月	埼玉会館小ホール

c 熊谷会館

熊谷地区の夏の恒例公演として定着している「松竹大歌舞伎」（仮名手本忠臣蔵）を実施した。

事業名	実施時期	会場
松竹大歌舞伎	7月	熊谷会館ホール

(イ) 普及啓発事業（53事業）

a 彩の国さいたま芸術劇場

平成18年度から取り組んでいる55歳以上の演劇集団「さいたまゴールド・シアター」は、6月に第1回目の公演「船上のピクニック」を実施した。個人史をベースに演劇表現を追求した本公演は、連日満員となるなど注目度が高く、新たな芸術文化の可能性や公共劇場の役割などを全国に向け提示することができた。

加えて、誰もが気軽に劇場を訪れ、親しみを持つことができるよう、無料の「光の庭プロムナード・コンサート」（計10回）を実施したほか、ブラス公演に併せた県内高等学校の吹奏楽部員対象のクリニックや、ポジティブ・オルガンを活用した「みんなのオルガン講座〜Organ for ALL」を実施した。また、本年度より新たに、平日の昼間に「彩の国さいたま芸術劇場ランチタイム・コンサート」を実施した。

さらに、親子を対象に日本の昔話を題材としたダンス作品を制作、上演した「日本昔ばなしのダンス」や、優れたコンテンポラリー・ダンスの映像作品を上映した「videodance 2008 シリーズ2」などを実施した。

その他、参加型事業として、自ら表現することの楽しさをワークショップと公演参加で実感できる「クラウンのいる風景」や、小学生と

その保護者を対象として劇場と舞台芸術の楽しさを体感できる「劇場体験ツアー2007」、劇場に気軽に足を運び、舞台芸術に関心を広げていただくための蜷川幸雄芸術監督による公開トーク・セッション「彩の国さいたま芸術劇場 アーツ・コミュニケーション・シリーズ」(計11回)を実施した。

事業名	実施時期	会場
さいたまゴールド・シアター第1回公演「船上のピクニック」	6月～7月	芸術劇場小ホール
さいたまゴールド・シアターPro-cess3「思い出の日本一万年」	3月	芸術劇場大けいこ場
日本昔ばなしのダンス	1月	芸術劇場小ホール
光の庭プロムナード・コンサート	4月～3月	芸術劇場情報プラザ
みんなのオルガン講座～Organ for ALL	4月～7月	芸術劇場中練習室他
ニューヨーク・フィル・プラス・クインテット 金管クリニック	7月	芸術劇場音楽ホール他
彩の国さいたま芸術劇場ランチタイム・コンサート	7月	芸術劇場音楽ホール
さいたまアーツ・シアター ライヴ!!!	8月～2月※	芸術劇場情報プラザ他
彩の国さいたま芸術劇場 アーツ・コミュニケーション・シリーズ	4月～3月	芸術劇場映像ホール他
クラウンのいる風景(ステージラフト)	8月～9月	芸術劇場小ホール他
劇場体験ツアー2007	12月	芸術劇場大ホール
videodance2008 シリーズ2	2月	芸術劇場映像ホール

※ 「さいたまアーツ・シアター ライヴ!!!」は彩の国シェイクスピア・シリーズ及びエレンディア公演に併せ開催

## b 埼玉会館

ファミリーを対象に、誰もが一度は耳にしたことがある曲目を中心として、聴衆参加型のオーケストラ公演「埼玉会館ファミリー・クラシック 夏休みオーケストラランド!」を実施するとともに、平日の昼間に「埼玉会館ランチタイム・コンサート」を、NHK交響楽団などのメンバーで構成したアンサンブルにより計3回実施した。なお、ランチタイム・コンサートの実施においては、近隣店舗と連携し地域のにぎわいづくりに努めた。

事業名	実施時期	会場
埼玉会館 ランチタイム・コンサート	6月～12月	埼玉会館大ホール
埼玉会館ファミリー・クラシック 夏休みオーケストラランド!	8月	埼玉会館大ホール

c 熊谷会館

ボリショイ劇場の元ダンサーを講師に迎え、小学生以上を対象として「熊谷会館クラシックバレエ・セミナー」を実施した。

また、親子向けの入門的クラシック・コンサート「熊谷会館ファミリー・クラシック 仲道郁代ピアノものがたり」を実施した。

事業名	実施時期	会場
熊谷会館クラシックバレエ・セミナー	8月	熊谷会館ホール
熊谷会館ファミリー・クラシック 仲道郁代ピアノものがたり	3月	熊谷会館ホール

d アウトリーチ事業

世界の第一線で活躍する舞踊家が、小学校の児童を対象に行う長期ダンス・ワークショップ「勅使川原三郎 教育プログラム」を引き続き実施した。

また、県内小・中学校へ出張演奏を行うアウトリーチ事業「MEET THE MUSIC～アーティストが学校にやってくる！」(計10回)や、大学生スタッフと劇場スタッフが共同で広報・制作を行った「宮本益光ふれあいコンサート」を実施した。

事業名	実施時期	会場
勅使川原三郎 教育プログラム (小学生対象)	10月～11月	県内小学校
MEET THE MUSIC～アーティストが学校にやってくる!	7月～3月	県内小・中学校
宮本益光ふれあいコンサート	6月～9月	芸術劇場大練習室

(ウ) 県内文化資源の支援事業 (9事業)

県内主要芸術文化団体の一つである埼玉県舞踊協会との共催による「ダンスセッション2008」を実施した。

また、県内及び近県の公立文化施設の舞台技術職員を対象として、舞台作業の安全運用についての研修会を開催した。

さらに、埼玉県高等学校演劇連盟や埼玉県立芸術総合高等学校との共同による演劇発表会や舞台技術研修会を実施し、生徒らのレベルアップを図った。

その他、埼玉大学と共同で「文化経済学会〈日本〉2007さいたま大会シンポジウム」の実施、大学講座への講師派遣、大学からのイ

ンターシップの受け入れなど、教育機関等との積極的な連携を図った。

事業名	実施時期	会場
ダンスセッション2008	3月	芸術劇場大ホール他
埼玉県高等学校演劇連盟中央発表会	11月	芸術劇場大ホール
埼玉県立芸術総合高等学校舞台技術講習会	8月～9月	芸術劇場小ホール
県内高校生対象舞台技術講座	2月	芸術劇場小ホール
さいたま舞台技術フォーラム2008	2月	芸術劇場映像ホール
埼玉大学との共同研究	4月～3月	芸術劇場他
文化経済学会〈日本〉2007さいたま大会シンポジウム	6月	芸術劇場音楽ホール
大学生インターンシップ	8～11月	芸術劇場他
埼玉大学アートマネジメント講座	10月～1月	芸術劇場他

## イ 広報に関する事業

### (ア) 企画展示事業

彩の国さいたま芸術劇場内の情報プラザやギャラリーを活用し、舞台芸術等に関連する企画展を開催した。

- a 「インバル・ピント・カンパニー スケッチと写真展」(7月～11月)
 

11月の新作公演に先立ち、ピントとポラックが演出・振付をしたダンスやオペラの中から4作品の舞台写真とスケッチ約90点を展示。
- b 「彩の国シェイクスピア・シリーズ展」(12月～2月)
 

彩の国シェイクスピア・シリーズ第1弾「ロミオとジュリエット」から第18弾「オセロー」までを舞台写真等によって振り返るパネル展示。
- c 「現代演劇ポスター展 ―新国立劇場情報センター所蔵品による―」(2月～3月)
 

新国立劇場情報センター所蔵の演劇関係のポスターの中から、現代の演劇界で話題となった作品及びデザインや印刷技術など優れたものを約100点展示。財団法人新国立劇場運営財団との共同開催。

(イ) 財団情報誌「埼玉アーツシアター通信」の発行

財団主催事業などを紹介した情報誌「埼玉アーツシアター通信」を発行した。

公演の見どころや蜷川幸雄芸術監督の公開トーク・セッションの内容を掲載するなど、読みやすく、かつ充実した内容の情報誌を目指し、編集を行った。

a 発行回数、部数 年6回、各12,000部発行  
(24ページ 4色)

b 配布先 文化施設、マスコミ、プレイガイド、  
財団メンバーズなど

(ウ) 財団ホームページの運営

ホームページを活用し、公演情報や施設利用の手続きなどを紹介した。また、施設の空き情報の提供をさらに充実するなど、よりわかりやすく使いやすいホームページ運営に努めた。

(エ) メンバーズ事業

財団の活動を支援する個人の会員組織「メンバーズ」への加入促進に努めた。「メンバーズ」の会員には、財団情報誌を送付するとともに、財団主催事業のチケットについて優先販売と割引サービスを行うことにより、チケットの販売促進を図った。

メンバーズ会員数 4,818人(平成20年3月31日現在)

(オ) サポーター会員制度の運営

財団の活動に対し財政面で支援いただく法人等の会員組織「サポーター会員」への加入促進に努めた。当初の目標であった100社を達成し、「リア王」上演時には懇親会も実施した。

サポーター会員数 101社(平成20年3月31日現在)

### (3) 施設管理事業特別会計

#### ア 彩の国さいたま芸術劇場施設管理事業

彩の国さいたま芸術劇場の施設の適正な管理を行うとともに、ホール、けいこ場、練習室等が十分に活用されるよう利用者サービスの充実に努めた。

平成19年度は、利用者のアンケートをもとにホール入り口の案内表示を改善したほか、附属設備利用体系の見直しを行うなど、利用者主体の見直しを行った。また、抽選で希望日から外れた利用希望者に対し代替日のあっせんを行うなど、施設の利用促進に努めた。

舞台芸術資料室においては、財団が所蔵する舞台芸術に関する各種の専門的資料を広く一般にも公開した。平成19年度は、公演に関連した企画コーナー（源氏物語及びシェイクスピア特集）を設けるなど、資料室のさらなる活性化を図った。

総来場者数 397,127人

#### 施設の利用状況

施設等の名称	利用可能日数 (日)	利用日数 (日)	利用率 (%)
ホール	1,138	834	73.3
けいこ場・練習室	3,743	3,320	88.7
計	4,881	4,154	85.1

#### イ 埼玉会館施設管理事業

埼玉会館の施設の適正な管理を行うとともに、ホール、会議室、展示室が十分に活用されるよう利用者サービスの充実に努めた。

平成19年度は、展示室の利用方法や附属設備利用体系の見直しを行い、利用者サービスの向上を図るとともに、ホームページで会議室の空き状況を公開するほか、ダイレクトメールによる利用案内の送付などの情報提供を行い、施設の利用促進に努めた。

総来場者数 682,130人

施設の利用状況

施設等の名称	利用可能日数 (日)	利用日数 (日)	利用率 (%)
ホール	6 2 7	5 4 7	8 7 . 2
会議室	5, 9 2 4	4, 7 6 3	8 0 . 4
展示室	1, 0 5 1	6 4 4	6 1 . 3
計	7, 6 0 2	5, 9 5 4	7 8 . 3

ウ 熊谷会館施設管理事業

熊谷会館の施設の適正な管理を行うとともに、ホール、会議室、展示室が十分に活用されるよう利用者サービスの充実に努めた。

平成19年度は、会議室常用備品を充実し利便性を上げるなど、利用者サービスの向上を図った。

なお、平成20年2月19日から3月9日まで、舞台屋上防水改修工事のため、ホールの貸出を休止した。

総来場者数 1 4 9, 7 9 4 人

施設の利用状況

施設等の名称	利用可能日数 (日)	利用日数 (日)	利用率 (%)
ホール	3 0 9	1 5 9	5 1 . 5
会議室	1, 0 2 9	8 7 2	8 4 . 7
展示室	3 4 1	2 6 4	7 7 . 4
計	1, 6 7 9	1, 2 9 5	7 7 . 1

## 2 役職員に関する事項

### (1) 役員数 (平成20年3月31日現在)

(単位：人)

	常 勤	非常勤	計	備 考
理 事 長	—	1	1	
専務理事	1	—	1	県派遣 1
理 事	—	7	7	
監 事	—	2	2	
計	1	10	11	

### (2) 職員数 (平成20年3月31日現在)

(単位：人)

	常 勤	非常勤	計	備 考
部 長	2	—	2	県派遣 1
館 長	2	—	2	県派遣 1
グループリーダー・課長	4	—	4	県派遣 2
主 査	18	—	18	県派遣 7
主 任	10	—	10	
主 事	12	—	12	
専 門 員	1	—	1	
芸術監督	—	1	1	
嘱 託	—	1	1	
プロデューサー	—	1	1	
その他非常勤職員	—	7	7	
計	49	10	59	県派遣 11